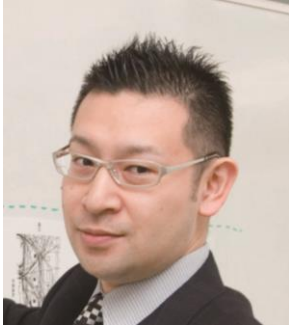


# 公共空間の誘導サイン，案内サインの検証と計画



## Keyword

サイン，景観デザイン，情報デザイン，シーケンス，駅，街路空間

連絡先 デザイン学科 教授 池田岳史  
 電話 0776-29-2606  
 E-mail ttikeda@fukui-ut.ac.jp

関連する既往研究成果から，既設誘導サイン，案内サインの設置空間，誘導の連続性，視認性，提示情報について検討を行うとともに新設に関する提案を行う。



誘導経路のシーケンスとサインの設置位置分析

本研究は，空間利用者を取り巻く環境に関し，シーケンスの概念を基にした動的視点からの空間解析と，サインによる情報提示を検証することで，空間のシーケンスとデザインを考慮した誘導サインの最適化を目指す。

さらに，誘導経路上に点在する“かいわい”への回遊性を誘発することで，面的な広がり，回遊性を持つサインシステム構築手法の確立を目指す。これらにより，例えば交通結節点である駅や周辺空間における円滑な利用者誘導や，地方都市における市街地観光価値の向上，中心市街地への住民誘導といった点での成果が期待できる。

本研究の進め方の例を，右図に示す。誘導サインの最適化については Phase1~5，回遊性をもたらすサインシステムの提案は，Phase1~5に，Phase A, B を加えて行うことで成果を得る。

### 《 共同研究の相手となる業界等 》

国家公務，地方公務，鉄道業，道路旅客運送業，学術・開発研究機関，広告業，映像・音声・文字情報制作業

### 《 参考文献 》

「交通結節点におけるサインの連続性に関する調査(1)~(3)」池田岳史他，福井工業大学研究紀要，2012~2014

「駅空間における空間変化とサインの連続性に関する研究 -その1~4-」池田岳史，川合康央，益岡 了，デザイン学会誌，デザイン学研究第60回研究発表大会概要集 2010~2013

### 誘導サインの検証・提案の例

Phase 1 予備調査	
目的	調査対象エリアの空間把握と調査準備
内容	調査対象エリアの現地予備調査 調査対象エリアの平面マップ作成
Phase 2 現地調査	
目的	調査対象エリア内の既設サイン調査
内容	調査対象エリア内の既設サイン撮影 調査対象エリア内の既設サイン位置記録
Phase 3 集計	
目的	既設サインの位置，掲載情報等のまとめ
内容	既設サインマップ作成 既設サイン掲載情報集計
Phase 4 分析，考察	
目的	既設サインの位置，掲載情報等の分析と考察
内容	既設サインマップ分析 既設サイン掲載情報分析 サイン相互関係の分析 誘導経路上のサインシーケンス分析
Phase 5 まとめとサインシステム提案	
目的	既設サインの問題点と解決方法提案
内容	分析結果から既設サインの問題点抽出 問題点と新たな要望に応える提案のとりまとめ

### 回遊性をもたらすサインシステムの提案例

Phase A かいわい調査	
目的	調査対象エリアの”かいわい”調査
内容	エリア内のかいわい発掘調査 かいわい性の分析
Phase B サインシステム提案	
目的	かいわいを巡る回遊性をもたらすサインシステムの提案
内容	回遊性を促す提供情報と位置の検討 サインシステムの提案のとりまとめ